

ホンダ・レーシング・スクール・鈴鹿(HRS鈴鹿) Formula Class 2026年度 Formula Classアドバンスコース修了式のご報告

拝啓 盛夏の候、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。平素は、当社の事業に格別のご支援をいただき、厚く御礼申し上げます。

さて、「ホンダ・レーシング・スクール・鈴鹿(HRS鈴鹿)」では7月9日(木)に2026年度「Formula Classアドバンスコース」の最終カリキュラムおよび修了式を行いました。
2025年末より開催してきた「Formula Class入校選考会STEP1」および「同STEP2」を経て選抜した受講生8名を対象に行ってきた「Formula Classアドバンスコース」は、今回のカリキュラムをもって延べ8日間・合計32時間に及ぶ全日程を無事に終了することができました。これもひとえにご協賛・ご協力いただきました各社の皆様のご支援の賜物と深く感謝申し上げますとともに、ご報告させていただきます。

今後もHRS鈴鹿は世界に通用するドライバーの育成を目標に活動を続けて参ります。引き続きご理解・ご協力賜りますよう、宜しくお願い申し上げます。

敬具

2026年7月9日

ホンダ・レーシング・スクール・鈴鹿事務局

●2026 ホンダ・レーシング・スクール・鈴鹿(HRS鈴鹿)

Formula Classアドバンスコース 最終カリキュラム・修了式 開催概要

- 日時: 2026年7月8日(水)、9日(木)
- 概要: 7月8日(水) フリー走行(20分間×4セット)
計測走行(15分間×1セット、10分間×1セット)
セット走行(6ラップ×2セッション)
7月9日(木) フリー走行(18分間×1セット、15分間×1セット)
計測走行(10分間×2セット、6分間×1セット)
セット走行(5ラップ×3セッション)
修了式(スカラシップ候補生発表)
- 参加: Principal…佐藤琢磨
(敬称略) Executive Director…中野信治(7月9日のみ)
Director…佐藤浩二
Instructor…加藤寛規・小林崇志・野尻智紀・大津弘樹(7月8日のみ)・武藤英紀(7月8日のみ)
佐藤蓮・小出峻
Physical Coach…鎌田貴
アドバンス受講生 8名



カリキュラム最終日の朝、スクール専用フォーミュラカー「HRS-F24」を囲んで全員で恒例の集合写真撮影を実施

 TAICHI

 Arai

 EARPEACE

 EIKO
Glory of Karting

 EXCEL
Motorsport

 NGK
SPARK PLUGS

 ENDLESS
Challenge to the Future

 HEDC
BATTERY

 OTK
KART JAPAN

 RUBIN
HAMAMATSU

 Sabell

 CCI

 SHIBA LINING JAPAN
advanced technology products

 ThreeBond

 DUNLOP

 TODA
RACING

 TORAY
Toray Carbon Magic

 BRIDGESTONE

 PETRONAS
Syntium

 hit-air
WIDE SUPPORT SYSTEM

 mooncraft

 rizoma

 WAKOS

世界で通用する実践的スキルを習得するアドバンスコース 少数精鋭・短期集中型スクールの最終カリキュラム

入門用マシンであるフォーミュラEnjoyの車両を使用し、運転技能を審査する「Formula Class入校選考会STEP1」(2日間)と、ホンダ・レーシング・スクール・鈴鹿独自のフォーミュラカーを使用し、運転適性などを審査する「同STEP2」(3日間)。2025年末より開催してきたその2つのコースを経て選抜した受講生8名は各回2日間ずつのカリキュラムを計3回消化し、今回の第4回目が「Formula Classアドバンスコース」の2026年度最後のカリキュラムとなりました。

初日の7月8日(水)はフィジカルトレーニングにて身体をウォームアップした後、いつものように全体ミーティングから1日がスタートしました。

その後、受講生たちはメカニックが入念に整備したスクール用フォーミュラカーに乗り込み、実技トレーニングへ。マシンの個体差に関係なく確実なドライビングができるよう、前回カリキュラムの最終日からランダムに入れ替えられたスクール用フォーミュラカーにて、まず20分間ずつのフリー走行を4セット実施しました。

昼のインターバルには、ホイールに傷やひび割れなどがないか、タイヤをどのように使っているかなどを確認するホイール洗浄、レギュレーションを正しく理解し、レースをより公平に戦うための規則書テスト、速いドライバーと自分のパラメータを比較し、次回のドライビングやマシンセッティングに活かすロガーチェックを実施。その後、15分間と10分間による計測走行を1セットずつ行い、さらに、6ラップずつによるセット走行を2セッションに渡って行いました。

これらの走行時は佐藤蓮・小出峻の両Instructor(ともにスーパーフォーミュラとSUPER GTに参戦)が同時走行しました。また、佐藤琢磨Principal、佐藤浩二Director、加藤寛規・小林崇志・野尻智紀・大津弘樹・武藤英紀Instructorにはコース脇やピットにて受講生の走りをチェックしていただき、走行後に受講生に対してアドバイスを行っていただきました。



スーパーフォーミュラやSUPER GTで活躍するホンダ・レーシングのドライバーが同時走行し、レース形式の練習となったセット走行を2日間・5セッションに渡って実施

 TAICHI

 Arai
HELMET

 EARPEACE

 EIKO
Glory of Karting

 EXCEL®
Motorsport

 NGK
SPARK PLUGS

 ENDLESS
Challenge to the Future

 HEDC
BATTERY

 OTK
KART JAPAN

 FUEHITANI
HAMAMATSU

 Sabelt

 CCI

 SHIBA LINING JAPAN
advanced technology products

 ThreeBond

 DUNLOP

 TODA
RACING
Blue Power Center

 TORAY
Toray Carbon Magic

 **BRIDGESTONE**

 PETRONAS
Syntium

 hit-air
WIDE SUPPORT SYSTEM

 mooncraft

 rizoma

 WAKOS

できる限りの走行経験値アップを狙い、計測走行3セット・セット走行3セッションを実施した最終日のカリキュラム

最終日の7月9日(木)の朝もフィジカルトレーニングにて身体をウォームアップした後、全体ミーティングを実施。ここでは佐藤(浩) Directorによってスケジュールの確認や走行の注意点などの説明が行われた後、最終カリキュラムの当日を迎えた受講生に対し、佐藤(琢) PrincipalをはじめとするInstructor陣から激励の言葉が掛けられました。

そしていよいよ最後の実技トレーニングへ。まずは初日の7月8日(水)に使った車両からランダムに入れ替えられたスクール用フォーミュラカーの状態を確認しながら18分間と15分間によるフリー走行を1セットずつ実施。その後、タイヤを新品に交換し、10分間×2セット、6分間×1セットの計測走行を行い、さらに、スタート直後の接戦に競り勝つためのスキルを身につけることなどを目的に、5ラップずつに設定したセット走行を3セッションに渡って実施しました。

一気に集中力を高め、早い段階でのタイム出しを狙い、3セットに渡って行った計測走行の1セット目は、小出Instructor(2分6秒647)、小野原悠(受=受講生:以下同/7秒291)、佐藤Instructor(7秒308)、加納康雅(受/7秒356)、白石麗(受/7秒426)、塩田惣一郎(受/7秒520)、Quinten Lu(受/7秒641)、Simon Bulbarella(受/7秒820)、杉田悠真(受/7秒968)、Jure Portelli(受/9秒251)のタイム順になりました。

続いて計測走行2セット目のタイム順は、小出Instructor(6秒145)、佐藤Instructor(6秒695)、加納(6秒901)、小野原(7秒057)、白石(7秒356)、Bulbarella(7秒468)、Lu(7秒517)、塩田(7秒534)、杉田(7秒752)、Portelli(8秒838)。さらに、計測走行3セット目が、小出Instructor(6秒233)、佐藤Instructor(6秒694)、小野原(7秒320)、加納(7秒358)、白石(7秒

552)、塩田(7秒671)、Lu(7秒777)、Bulbarella(7秒830)、杉田(8秒133)、Portelli(8秒937)のタイム順になりました。

1回目の計測走行のベストタイム順でスタートしたセット走行1セッション目のオープニングラップでは、佐藤Instructorが小野原をパスして一つ順位を上げ、中段では塩田も白石をパス。2周目にはBulbarellaがLuを抜きましたが、Luが4周目にBulbarellaを抜き返し、小出Instructor、佐藤Instructor、小野原、加納、塩田、白石、Lu、Bulbarella、杉田、Portelliのオーダーでチェッカーを受けました。

続いて2回目の計測走行のベストタイム順でスタートしたセット走行2セッション目ではポールポジションからスタートした小出Instructorと2番グリッドスタートの佐藤Instructorが横並びの状態となり、S字コーナーで佐藤Instructorが前に。同じくオープニングラップでは小野原が加納をパス。8番グリッドスタートの塩田が5番手まで順位を回復しました。2周目にはBulbarellaが白石をパス。3周目以降も中段以降で激しい順位の入替えが起きましたが、4周目のS字コーナーでコースアウトしたマシンがあったことにより、赤旗が出され、そこでセッションは終了。佐藤Instructor、小出Instructor、小野原、加納、塩田、Bulbarella、杉田、Lu、白石、Portelliのオーダーとなりました。

今回最後の走行カリキュラムとなった3セッション目は、計測走行3回目のベストタイム順でスタート。オープニングラップでは加納が小野原をパスして3番手に。白石は大きく順位を落としました。3周目以降は集団がバラけ、小出Instructor、佐藤Instructor、加納、小野原、塩田、Lu、Bulbarella、杉田、白石、Portelliのオーダーのままチェッカーを受けました。



トップカテゴリーで活躍するホンダ・レーシングの現役ドライバーがインストラクターとなり、受講生とともに走行した計測走行・セット走行

 TAICHI

 Arai

 EARPEACE

 EIKO
Glory of Karting

 EXCEL
Motorsport

 NGK
SPARK PLUGS

 ENDLESS
Challenge to the Future

 HEDC
BATTERY

 OTK
KART JAPAN

 RUBIN
HAMAMATSU

 Sabelt

 CCI

 SHIBA LINING JAPAN
advanced technology products

 ThreeBond

 DUNLOP

 TODA
RACING

 TORAY
Toray Carbon Magic



 BRIDGESTONE

 PETRONAS
Syntium

 hit-air
WIDE SUPPORT SYSTEM

 mooncraft

 rizoma

 WAKOS



最終日朝の全体ミーティングでは佐藤琢磨Principalはじめ、Instructor陣から8名の受講生に激励の言葉が掛けられた



世界のトップを経験したドライバーから直接アドバイスを受けられるのもHRS鈴鹿の大きな魅力のひとつ

 TAICHI

 Arai

 EARPEACE

 EIKO
Glory of Karting

 EXCEL
Motorsport

 NGK
SPARK PLUGS

 ENDLESS
Challenge to the Future

 HEDC
BATTERY

 OTK
KART JAPAN

 FUEHITANI
HAMAMATSU

 Sabelt

 CCI

 SHIBA LINING JAPAN
advanced technology products

 ThreeBond

 DUNLOP

 TODA
RACING

 TORAY
Toray Carbon Magic

 BRIDGESTONE

 PETRONAS
Syntium

 hit-air
WIDE SUPPORT SYSTEM

 mooncraft

 rizoma

 WAKOS



コースイン直前に整列が完了したスクールカー



走行の合間のインターバルで積極的にアドバイスを求める受講生
そのアドバイスを次の走行時にフィードバックすることで着実にスキルを身につけていく

TAICHI

Arai
HELMET

EARPEACE

EIKO
Glory of Karting

EXCEL
Motorsport

NGK
SPARK PLUGS

ENDLESS
Challenge to the Future

HEDC
BATTERY

OTK
KART JAPAN

FUEHITANI
HAMAMATSU

Sabelt

CCI

SHIBA LINING JAPAN
advanced technology products

ThreeBond

DUNLOP

TODA
RACING

TORAY
Toray Carbon Magic

BRIDGESTONE

PETRONAS
Syntium

hit-air
WIDE SUPPORT SYSTEM

mooncraft

rizoma

WAKOS

さらに人数を絞った教育環境の下、Honda育成ドライバーを選抜する「Formula Classスカラシップ選考会」への進出者を決定

3セッションに渡るセット走行を終えた後、「Formula Classスカラシップ選考会」への進出者発表を含む「HRS鈴鹿Formula Classアドバンスコース」の修了式を行いました。

ここでは、HRS鈴鹿Formula Class Principal兼HRCエグゼクティブ・アドバイザーの佐藤琢磨氏より受講生一人ひとりに修了証書が授与されました。さらに、8名の修了生の中から優秀な成績を修めた（年齢順に）塩田惣一郎、小野原悠、Simon Bulbarella、杉田悠真、加納康雅の5名を「Formula Classスカラシップ選考会」へと進出させることを発表しました。

これをもちまして、2026年度の「HRS鈴鹿Formula Classアドバンスコース」までが無事終了しました。この後は選出された5名による「Formula Classスカラシップ選考会」の

カリキュラム（コース使用 合計16時間）を9月1日（火）から行い、さらに高度な実戦テクニックを磨くための様々なプログラムを消化した5名の中から数名を厳選し、2026年度スカラシップ（奨学制度）対象者を10月28日（水）に決定。その対象者には若手ドライバーの発掘・育成を目的とした「Hondaフォーミュラ・ドリム・プロジェクト（HFDP）」の育成ドライバーとして2027年シーズンの各種レースに参戦する権利が与えられることとなります。

HRS鈴鹿出身者には佐藤琢磨Principal（1997年度修了）、角田裕毅選手（2016年度修了）など、国内外で活躍するドライバーが数多くいます。彼らに倣って今回の受講生たちも成長していくことが期待されます。今後とも受講生たちの活動に注目いただきますよう、よろしくお願い申し上げます。

●佐藤琢磨Principalのコメント●

『この4か月アツと言う間だったと思います。このプログラムの中で8名全てがさらに速く走りたい、もっと成長したいという強い思いを持っていることを常に感じていました。今回の2日間でも確実に成長を遂げたと思います。昨晚も遅くまで2名のInstructorの走りと比較し、自分の走りに反映しようと努力していました。そういったことを嬉しく思いました。これから5名はスカラシップ選考会に進みます。今大切なのは、ここまで自分が課題を持って努力してきたことを次につなげることです。常に全力でアタックすることで自らチャンスを掴んでいく。それが大事なのです。次に進むことができなかったドライバーもここでの経験を活かし、次のステージに向けて頑張っていってください』



充実した面持ちで佐藤琢磨Principalから修了証書を受け取る受講生

 TAICHI

 Arai

 EARPEACE

 EIKO
Glory of Karting

 EXCEL
Motorsport

 NGK
SPARK PLUGS

 ENDLESS
Challenge to the Future

 HEDC
BATTERY

 OTK
KART JAPAN

 FUEHANT
HAMAMATSU

 Sabelt

 CCI

 SHIBA LINING JAPAN
advanced technology products

 ThreeBond

 DUNLOP

 TODA
RACING

 TORAY
Toray Carbon Magic



 BRIDGESTONE

 PETRONAS
Syntium

 hit-air
WIDE SUPPORT SYSTEM

 mooncraft

 rizoma

 WAKOS

●「HRS鈴鹿Formula Classスカラシップ選考会」進出者のコメント●

◇小野原悠(おのはらゆう) 17歳／大阪府

『今回までにできなかったことを洗い出し、スカラシップ選考会に向けて準備していこうと思います。目標はもちろんスカラシップを獲得することです』

◇塩田惣一郎(しおだそういちろう) 16歳／神奈川県

『今回の2日間は絶不調でした。緊張があったのだと思います。スカラシップを獲得することしか狙っていないので次回からはしっかり挽回していこうと思います』

◇杉田悠真(すぎたゆうま) 17歳／大阪府

『自分では満足できないセッションが多かったです。スカラシップ選考会に進むことができたのでしっかり準備し、首席でスカラシップを獲得できるよう、取り組んでいきます』

◇Simon Bulbarella(サイモン・ブルバレッラ) 17歳／アルゼンチン・ブエノスアイレス

『とにかくミスがないよう、一生懸命頑張りました。いくつかミスはありましたが、スカラシップ選考会に進むことができ、ハッピーです』

◇加納康雅(かのうやすまさ) 19歳／兵庫県

『今日は必死でした。最後に名前を呼ばれてホッとしました。スカラシップ選考会ではとにかく全力で喰らいついていくのみです』

 TAICHI

 Arai

 EARPEACE

 EIKO
Glory of Karting

 EXCEL®
Motorsport

 NGK
SPARK PLUGS

 ENDLESS
Challenge to the Future

 HECC
BATTERY

 OTK
KART JAPAN

 FUEHITANI
HAMAMATSU

 Sabell

 CCI

 SHIBA LINING JAPAN
advanced technology products

 ThreeBond

 DUNLOP

 TODA
RACING

 TORAY
Toray Carbon Magic

 BRIDGESTONE

 PETRONAS
Syntium

 hit-air
SHOCK ABSORBER SYSTEM

 mooncraft

 rizoma

 WAKOS



2026年度「HRS鈴鹿Formula Classスカラシップ選考会」へと進出する5名
写真左から、小野原悠、塩田惣一郎、佐藤琢磨Principal、杉田悠真、Simon Bulbarella、加納康雅



「HRS鈴鹿Formula Classアドバンスコース」修了式で、「Formula Classスカリシップ選考会」への進出者が発表され、起立する受講生たち



「HRS鈴鹿Formula Classアドバンスコース」修了式

TAICHI

Arai
HELMET

EARPEACE

EIKO
Glory of Karting

EXCEL
Motorsport

NGK
SPARK PLUGS

ENDLESS
Challenge to the Future

HEDC
BATTERY

OTK
KART JAPAN

FUJITSU
HAMAMATSU

Sabelt

CCI

SHIBA LINING JAPAN
advanced technology products

ThreeBond

DUNLOP

TODA
RACING

TORAY
Toray Carbon Magic

BRIDGESTONE

PETRONAS
Syntium

hit-air
MAX EFFORT SYSTEM

mooncraft

rizoma

WAKOS